

ちょっと一言!!

# 市民の声

広報委員が市民の皆さんに、  
行方市に寄せる思いをインタ  
ビューしました。



●学校の適正配置も北浦地区がいまだ見えてこないようです。地域では、小・中一貫校を望む声があります。子どもが複数いる場合、運動会、PTA会議、保護者会、役員の数、専門教師の指導など多くのメリットがあります。  
行方市初の小・中一貫校を北浦中付近に作っていただきたい。築35年の津澄小に統合では、北浦地区の住民が納得できません。  
百里基地の騒音も民間共用化されてからのほうがひどいです。民営化のおかげで、行方市上空を回るのが増えています。住宅防音工事の拡大が必要です。市長さん、議員の皆さん、防衛省への働きかけをお願いします。

(50代 男性)

●私は、仕事をしながら子育てをしてきた一人です。

子育て支援を通して、親の立場から今支援する側となり、日々気付かされることがあります。

大切な子どもたちを預かる上で従事者に対しては、スキル向上のための充実した研修の必要性、未来を担う子どもたちに「愛と安心」ある支援が出来る環境づくりは、やはり行政と地域の協力があってのことだと思えます。その中で、人任せにせず、積極的に保護者や教育関係者等とのコミュニケーションを図っていくことの大切さを日々感じます。

それを踏まえて、行政側ももっと子育て支援に目を向けてほしいと思います。

(40代 女性)

●私は50年以上、米や野菜を作っている農業者です。

この頃、耕作されずに荒れ果てた田畑が目立ちます。なんらかの事情があると思いますが、先祖代々作り続けた田畑の耕作を断念せざるを得ない時代かと思えます。私も高齢の身となり、不安な今日この頃です。

米価の低迷はもとより、農業を取り巻く状況は以前にまして厳しく、先が見通せません。

行方市は耕作放棄地問題を真剣に考え、農家の収入安定のための農政にしっかりと取り組むことが当面の課題であると思えます。

(70代 男性)

●新年おめでとございます。また、新成人の皆様、誠に成人おめでとございます。私たちの成人式は夏でしたが、やはり、新年を迎えたこの時期が、心身共にベストな式の時期だと思えます。

人生の節目として大人の仲間入りをされた皆様にひと言。  
人は、いつも誰かに支えられていることを忘れず、「一日一善」をモットーに、常に感謝のできる良き社会人として、頑張ってください。

(40代 女性)



笑顔の門出（成人式）

議会では、議会や市に対する要望、意見、あるいは「議会だより」を読んでの感想などをお待ちしています。

住所・氏名・電話番号を明記のうえ、議会事務局まで。

みんなで傍聴しましょう!! 次の定例会は3月上旬開会予定です。

編

集

後

記

平成23年卯年の輝かしい新春を、市民の皆様におかれましては、健やかに迎えるのこととお慶び申し上げます。



さて、昨年は、記録的猛暑や米価の下落など農政を取り巻く環境は厳しいものでありました。また、12月に行われた茨城県議会議員選挙では、横山忠市氏が再選されました。

本年は、我々23名も4月21日に任期満了を迎えます。同月24日に執行が予定されている統一地方選挙では、先の議会で議決したとおり、定数4人減の20人の議員が誕生します。

本市の財政状況は、緩やかに改善されつつありますが、安心できる状況ではありません。今以上に健全財政を目指し、皆様と互譲互恵の精神で、一層の努力をしていきたいと思えます。

結びに、広報委員長として4年間、皆様から賜りましたご協力に心より感謝申し上げますとともに、皆様にとつて希望に満ちた一年でありますようご祈念申し上げます、編集後記といたします。

(宮内 正)

## 広報委員会

委員長 宮内 正

副委員長 高橋 正信

委員 松兼 幸蔵 鈴木 義浩

委員 関野 謙一